

## 山梨県・アイオワ州姉妹締結50周年記念事業実施状況

### 1 日程

- 8月11日（木）日本～アイオワ州
- 12日（金）アイオワ州
- 13日（土）アイオワ州
- 14日（日）アイオワ州～カリフォルニア州ナパバレー
- 15日（月）ナパバレー～カリフォルニア州ロサンゼルス
- 16日（火）ロサンゼルス
- 17日（水）ロサンゼルス～
- 18日（木）日本

### 2 事業及び行事内容

#### （1）アイオワ州

##### ① アイオワ州知事表敬訪問

- ・ 日 時 8月12日（金）10：30～10：45
- ・ 会 場 アイオワ州知事執務室
- ・ 参加者 10名  
山梨県側：6名  
（知事・県訪問団）  
アイオワ州側：4名  
（ブランスタッド知事、レイノルド副知事 等）
- ・ 概 要 ブランスタッド知事を表敬訪問し、これまでの交流の成果と次代を担う青少年交流の強化について会談。

##### ② 「平和と友情の鐘」再奉納式及び記念植樹

- ・ 日 時 8月12日（金）11：00～12：00
- ・ 会 場 アイオワ州キャピタルグラウンド
- ・ 参加者 約150名  
山梨県側：65名  
（県・県議会訪問団、青少年訪問団、国際交流吹奏楽団）  
アイオワ州側：約85名  
（知事、上院議長、国際委員長、姉妹州委員 等）
- ・ 概 要 1962年に本県から贈った「平和と友情の鐘」の老朽化した鐘楼を州民の寄付により修復。姉妹締結50周年を祝うとともに、鐘を突いて、東日本大震災の被災者追悼を行った。

### ③寄付者昼食会および感謝状授与式

- ・ 日 時 8月12日(金) 12:30～13:30
- ・ 会 場 州立歴史博物館1Fホール
- ・ 参加者 約60名  
山梨県側：15名(県・県議会訪問団)  
アイオワ州側：約45名  
(知事、副知事、上院議長、国際委員長、寄付者等)
- ・ 概要 「平和と友情の鐘」の鐘楼修復や庭園整備等の寄付団体や関係者に対し、感謝状を授与。

### ④パイオニア・ハイブリッド・インターナショナル社の視察

- ・ 日 時 8月12日(金) 14:00～16:00
- ・ 会 場 パイオニア・ハイブリッド・インターナショナル社
- ・ 参加者 20名  
山梨県側：15名(県・県議会訪問団)  
PHI社側：5名
- ・ 概要 トウモロコシや大豆など、アメリカ最大の飼料用種子会社の経営理念・市場戦略についての説明を受け、実験農場を視察。

### ⑤50周年記念祝賀会・晩餐会

- ・ 日 時 8月12日(金) 18:30～20:00
- ・ 会 場 エンバシークラブ
- ・ 参加者 50名  
山梨県側：15名(県・県議会訪問団)  
アイオワ州側：35名  
(農務長官、上院議長、元州知事、姉妹州委員等)
- ・ 概要 アイオワ州政府、議会、姉妹州委員会関係者などが集い、姉妹締結50周年を祝賀し、これまでの交流と今後の交流の継続について確認。

### ⑥デモイン市「ファーマーズ・マーケット」等の視察

- ・ 日 時 8月13日(土) 8:30～14:45
- ・ 会 場 デモイン市ダウンタウン、アイオワ・ステートフェア 等
- ・ 参加者 山梨県側：15名(県・県議会訪問団)  
アイオワ州側：5名(姉妹州委員等)
- ・ 概要 デモイン市内中心部で毎週土曜日に開催され、歩行者天国と200ほどの出展者でにぎわう朝市。平均客数1800人と市街地活性化に貢献。アイオワ・ステートフェアは、全米最大級の農業祭り。ステートフェア専用の会場で、11日間にわたって開催され、中西部を中心に全米から100万人以上が訪れる。

## ⑦アイオワ州・山梨県姉妹締結50周年記念式典

- ・ 日 時 8月13日(土) 15:00～15:55
- ・ 会 場 アイオワ・ステートフェア・スーザン・ナップ・ステージ
- ・ 参加者 約150名  
山梨県側：65名  
(県・県議会訪問団、青少年訪問団、国際交流吹奏楽団)  
アイオワ州側：85名  
(知事、副知事、上院国際委員長、姉妹州委員 等)
- ・ 概 要 両県州知事により覚書きを締結。  
また、両県州の青少年代表が相互にメッセージを交換。
- ・ 成 果 覚書きの締結により、これまで築いた友情と信頼に基づいた姉妹関係を維持するとともに、産業経済、教育文化や青少年交流など各分野において、さらなる友好親善交流の発展に努め、日米両国の友好親善の促進と世界平和と繁栄に寄与することを確認。  
また、これからの新たな交流について、次代を担う青少年たちに継承していく契機となった。

## ⑧アイオワ州知事主催 慈善スティア・ショー参加

- ・ 日 時 8月13日(土) 16:00～17:00
- ・ 会 場 ステートフェア会場内パビリオン
- ・ 概 要 州知事主催のスティア(雄の食用子牛)の品評会とチャリティー・オークションに横内知事が参加し、州知事とともにパビリオン内で雄牛を引き、州民にアピール。

## (2)ナパバレー

### ①ウェルカムセンター訪問およびワイントレイン視察

- ・ 日 時 8月14日(日) 16:30～18:30
- ・ 会 場 ナパバレー・ウェルカムセンター  
ナパバレー・ワイントレイン駅
- ・ 出席者 山梨県側：15名(県・県議会訪問団)  
ナパ側：4名  
(市長、観光協会会長、ワイントレイン事業部長 等)
- ・ 概 要 ナパバレーはカリフォルニア北部有数のワイン産地であり、滞在型の観光地として世界中から観光客が訪れる。観光客の受入体制が整っていることでも知られ、市長や観光協会会長から、ハード整備や観光振興策について説明を受け、ナパ川に沿って整備された市内や店舗を視察。  
また、ナパバレーを往復3時間でゆったりと巡り、ランチやディナーとワインを楽しめる人気の列車である「ワイントレイン」の歴史や概要説明を受け、出発前の列車内を視察。

## ②ワイナリーおよび料理大学の視察

- ・ 日 時 8月15日(月) 10:00～12:30
- ・ 会 場 ダックホーン・ビンヤード(ワイナリー)  
CIA・ナパ校(カリナリー・インスティテュート・オヴ・アメリカ・ナパ校)
- ・ 参加者 山梨県側:15名(県・県議会訪問団)  
ナパ側:3名(ナパバレーコンシェルジュ、校長 等)
- ・ 概要 ナパバレーを代表するワイナリーと、世界トップクラスの料理大学として知られるCIAナパ校を視察し、ナパにおけるワイン産業の概要やワインと食を活かしたナパバレーの多様なワインツーリズムのあり方を、今後の本県におけるワインツーリズムの取り組みの参考とした。

## (3)ロサンゼルス

### ①スーパーマーケット視察

- ・ 日 時 8月16日(火) 10:30～11:40
- ・ 会 場 ブリストルファームズ マンハッタンビーチ店(高級店)  
フレッシュ&イージー マンハッタンビーチ店(低価格店)
- ・ 参加者 23名  
山梨県側:22名(県・県議会訪問団、事業者、県人会 等)  
アメリカ側:1名(クボ マネージャー:ブリストルファームズ)
- ・ 概要 所得の高い世帯の多い地域で、生鮮品を中心とした店舗展開をしている高級スーパーマーケットと、隣接地で顧客層の絞り込み、取扱品目の限定、全レジのセルフ化等により、「低価格」戦略を展開するスーパーマーケットを比較視察。高級店では、日本食品や日本酒などの取り扱いが多く見られ、本県企業の麺製品も陳列。

### ②共同貿易(株)訪問

- ・ 日 時 8月16日(火) 13:30～14:30
- ・ 会 場 共同貿易(株)
- ・ 参加者 21名  
山梨県側:17名(県・県議会訪問団、事業者)  
共同貿易側:4名(金井紀年会長 等)
- ・ 概要 共同貿易は、アメリカにおける日本食ビジネスのパイオニアとして事業を展開し、寿司ネタや米国での地酒ブームの基礎を築いた。また、今回の在ロサンゼルス日本国総領事公邸における本県物産PRに当たっては、物流等について、多大な協力をいただいた。金井会長自らが、アメリカ市場における日本食ブームの仕掛け、リーマンショック以降の立ち直りと、さらに米国全土で拡大し続ける日本食マーケットの有望な将来性などについて説明を行い、本県事業者の今後の輸出に向けた取り組みのヒントとなった。

#### ④「富士の国やまなし」魅力説明会・交流会

- ・ 日 時 8月16日(火) 18:00～20:00
- ・ 会 場 在ロサンゼルス日本国総領事公邸
- ・ 参加者 山梨県側：18名(県・県議会訪問団、事業者)  
山梨県関係参加業者：5社(うち2社は現地法人・代理店)  
山梨県人会関係者：約20名  
招待者：約80名(政府関係者、メディア、流通事業者、  
日本食レストラン等経営者、旅行会社等)  
総領事館：約10名(伊原純一総領事 等)
- ・ 概 要 日系人が多く在住し、約14000件の日本食レストランが軒を連ねるロサンゼルスにおいて、ビジネスキーパーソン等に対し、富士山を始めとした観光資源や県産品を紹介。20社の協賛・出品により、甲州ワインや日本酒セミナー、ブースにおけるワイン・日本酒・県産食材の試飲・試食、伝統工芸品等の陳列を行い、山梨の物産の魅力を伝えるとともに、交流を深め、本県への観光客誘致と県産品の販促のための足がかりを構築。
- ・ 成 果 米国で事業展開する事業者等の協力が十分に得られたことにより、参加者各位から、非常に印象に残るプロモーションとの評価を得ることができた。  
また、消費・購買力の高い中華系住民に視聴されているTVメディア2社からの知事への取材も実現。  
そのほか、印伝などの伝統工芸品に対する高い関心や、世界の高級ホテル紹介雑誌などからの取材依頼、貿易会社からの県産食品に対する照会などがあり、今後の展開が期待される。

#### 【問い合わせ】

観光部国際交流課

直通 055-223-1435